

TES会中部支部 第134回クレーム事例勉強会

検討年月日	2019/6/21		Aグループ							
品名(拡大写真)	裾レース使い紺色ワンピース									
	組成		取 扱 い 絵 表 示	140	220	320	440	530	620	710
	本体	ポリエステル 59%		141	210	310	430	520	621	711
		レーヨン 37%		142	200	300	445	510	610	712
		ポリウレタン 4%		130			435	500	611	700
	裾レース			131			420		600	
				132			410			
	ポリエステル 100%			110			425			
				100			415			
				ネット 無蛍光 中性				あて布 使用		
				国内用取扱い絵表示なし						
申し出クレーム内容	襟ぐり、袖口等の縫製部分が赤っぽく変色した									
クリーニング処理法	未着用未処理(店頭返品)									
グループ検討内容	<p>【検討内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変色している箇所は、テープを使った箇所が多い ・裏側も変色している ・紺色が赤色系への変色である ・二本針を使った箇所が変色しているので、二本針工程のミシン油等が原因かも ・アイロンの熱による変色も考えられる ・店頭返品された未着用品なので汗による変色ではない ・保管中のNOxガスによる変色かも ・店頭に2か月間陳列してあったとの情報があるので耐光不良の可能性もある ・耐光とNOx双方が原因となった可能性もある <p>【結論】</p> <p>主素材起因、テープ起因、縫製工程起因のいずれも考えられ、上記のような様々な可能性が挙げられたが、最終的な絞り込みはできなかった</p>									
検査機関検討内容	<p>【観察と考察】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①製品の縫製部位(生地が重なった部位)を中心に表裏に変色が見られる ②保管中の変色であるため、NOxガスによる影響が考えられる。NOxガスはストーブのガスや、自動車の排気ガスに含まれている ③また、生地が重なった部位を中心に変色が見られることから、保管環境中の影響などにより、水分がNOxガスを吸着し、生地が厚い部分に特に蓄積された可能性が考えられる ④上記状況に加え、生地表面に吸着されていたフェノール系酸化防止剤がNOxガスと反応したことで、変色に至った可能性が考えられる <p>【原因】NOxガスの影響、保管環境の問題など</p>									